

海を愛する
人々に
エールを

MEMORIES, NOW and FOREVER

Thailand Version

DIVER

協賛＝タイ国政府観光庁

Location: **Ang Thong Island**

神尾楓珠

KAMIO FUJU

落ち着いたら再びタイへ、
準備はいつでもできています！

海や森から感じられる自然のパワー、
異国情緒あふれる街もすごく好きです。

なによりお世話になった人たちが全員あったかくって。

初の海外ダイビングだったけど、安心して楽しめました。

タイの自然や人々の優しさは、僕らにパワーを与えてくれる。

こういう時期だからこそ

少しでも多くの情報を発信してもらえたら、

タイに行けない人にとって勇気になると思います。

自粛期間中はタイの思い出写真を眺めるだけで心が安らぎ、

明るい気持ちになれました。

サムイ島の西約30kmにあるアーントーン諸島は、約50もの島々からなる国立海洋公園。アイランドホッピングをしながらビーチでランチを楽しんだり、高台から絶景ビューを眺めたり、カヤックをしたり、自然のパワーを全身で感じられる

Answer 1 これまでまったくやってこなかった自炊を始めて料理をSNSにアップしたり、友達とオンラインゲームをしたり、家でできるコミュニケーションの場を増やしていました **A2** SNSを通じてファンの方と繋がることで、自分自身も勇気づけられました **A3** 人々のあたたかさ、観光客をずっと受け入れてくれるホスピタリティ。街並みもすごくいいです **A4** シーフード！海辺のレストランで食べたエビやカニ、魚が新鮮でおいしかった **A5** タオ島、サムイ島、アーントーン諸島 **A6** ジンベエザメが見たい！前回会えなかったのでリベンジしたいです

**神尾楓珠さん**

1999年生まれ、東京都出身。2015年俳優デビュー。昨年はドラマ「3年A組—今から皆さんは、人質です—」や映画「HiGH&LOW THE WORST」で注目度急上昇。2020年もドラマ「ギルティ〜この恋は罪ですか？〜」「いいね!光源氏くん」、映画「私がモテてどうすんだ」(公開中)など話題作に続々出演。今もっとも注目される若手俳優。2020年ダイビングライセンス

を取得し、タイで初ファンダイブを果たす。その模様は「DIVER」5月号特別付録にて掲載。

公式Instagram @kamio_fuju

ケリー

KELLY

太陽と自然から、 エネルギーをもらえる場所

今年の2月に「三愛リゾート」アンバサダーの撮影でプーケットへ行ってきました。

ギリギリに海外へ行けてよかったです。

きれいな海が見えて、太陽と自然からエネルギーをもらえてうれしかったです。

毎日撮影で潜る時間がなかったのが残念だけど、

またいつかプーケット島で潜りたい！

自粛期間は自宅からインスタライブで瞑想や

クッキングレッスンの配信をしていました。

いつもインスタを見てくれる方たちが自宅で楽しい時間を過ごせるように、

ポジティブなメッセージを発信できたらいいと思って

インスタライブにも挑戦しました。



Kellyさん

ブラジル・サンパウロ出身。健康的な明るさが魅力のモデルとして、ファッション誌のレギュラーモデルの他、ファッションショーや広告、TV等、様々なメディアで活躍中。ローフードシェフ、RYT200（国際ヨガライセンス）等の資格を持ち、そのヘルシーなライフスタイルも女性から高い支持を受けている。趣味はワークアウト（パーソナルジム、キックボクシング、ヨガ）、スクーバダイビング、料理、読書、旅行。今年9月に自著『美トレめし』を上梓する。@kellymisawa

Answer 1 インスタライブやるようになりました。

見ていただいた方と直接コミュニケーションが取れるようになって楽しかったです A2 ずっとやってみたかったお料理を作ったり、瞑想やヨガをやってました A3 タイのきれいな海とタイ料理 A4 パッタイとグリーンカレー、トムヤムクンのスープ A5 プーケット、ピビ島、サムイ島 A6 海でゴロゴロしたり、スパいたり、ダイビングしたいです



アンバサダーを務める「San-ai Resort」の 2020 collection の撮影で訪れたプーケットにて

鍵井靖章

YASUAKI KAGII

タイへ行ったら、改めて、
すべての生き物に挨拶したい

パスポートを携えて、旅に出る。

そんな日常は当たり前だと思っていた。

写真家として独立してから約 20 年間、
毎年 2 回はタイのアンダマン海やタオ島を訪れ、

現地の海を知り尽くしたガイドさんに
素晴らしい水中景色を見せてもらっていた。

予断は許さないが、

タイへ渡航できる日は他の国よりも早いのでないか……、

という少しうれしい情報も得ている。

今は、新型コロナの収束を願うばかり。

**鍵井靖章さん**

水中写真家。1993年よりオーストラリア、伊豆、モルディブに拠点を移し、水中撮影に励む。1998年に帰国。フリーランスフォトグラファーとして独立。コロナの影響で、海外に撮影に行けなくなったが、今は、国内の海の魅了を再発見する良い機会をもたらえたと思い活動を継続。写真集、写真展の予定も続々と……きっと、笑。常に新しいこと、楽しいことを求めて海に行ってます！ ●kagii.jp @yasuaki_kagii



撮影地は、アンダマン海のリチュエーロック。10年ほど前、ふと覗いた大きなイソバナの下には、アンダマン海では馴染みのお魚たちが集まっていた。またこんなシーンに出会いたくて、極上の海の中でも、さらに特別な景色を求めて、タイの海に潜り続けている。

Answer 1 休む時間を持ってもいいのだと気がついた **A2** 家の掃除!!!! (笑)。毎日、ここは必ず掃除してきれいにする! を積み重ねました。そんな過程が、作品作りにも共通していると思います **A3** 常に驚きを与えてくれることです。タオ島の魚影の濃さにはいつも圧倒されます。と同時にビビるほど透明度が落ちるときもある……。最近で言えば、連日のジンベエザメ・フィーバーもすごかった! あと、シーズン中のリチュエーロックは本当に素晴らしい! あの時期、世界で一番すごいダイビングポイントだと思う! **A4** タイ料理は、全部好き(カプトガニ以外)。中でも必ず食べるのは、タイ東北部のイーサン料理で、豚トロを炭火で焼くコーム・ヤーンが大好き! あと、クンチェーナンプラー! **A5** プークット、カオラック、タオ島、クラブなど主なダイビングディスティネーションはほぼ全て行きました。ラヨーンはまだなので、ぜひ行ってみたいです! **A6** すべての生き物に、改めて「こんにちは!」したいですね。そして、アフターダイブは、美味しいタイ料理を堪能しタイ!!! (←あ、すみません! 笑)

マーコ

MAAKO

タイの全部が好き！

わたしが初めてタイに行ったのは2014年。

世界一周の記念すべき第1か国目がタイでした。

バックパッカーの聖地「カオサンロード」に

タクシーから降り立った瞬間のことは今でも鮮明に覚えてます。

屋台の匂い、客引き、踊りながら歩く外国人、カラフルで賑やかな夜のライト。

全部が初めての感覚で、ちょっと怖くて、でもドキドキワクワクしながら目はパチクリ、

口は半開きになって歩いていました（笑）。

そこからタイが大好きになって10回以上は訪れています。

その中でもサムイ島のセイルロックでのダイビングでは

初めて野生のジンベエザメに会えるという貴重な体験ができました。

ギンガメアジの群れの渦から突如現れた大きな影。

息を飲む瞬間とはこういうことなんだって、

海の中で言葉にならない感情でジンベエザメを見つめていました。

船に上がってからも、興奮は収まらず、うれしくて幸せで、地球に生まれてよかった!!

最高な人生!! ありがとうー!! タイの海ー!! って叫びました（笑）

観光客がいなくなり、人が入らなくなったタイの海はどんなふうに変わっているのかな。

ジュゴンの群れが現れたり、プーケットのビーチでウミガメが産卵したりと

うれしいニュースもありますね。

本来の生き物の住みかが静かになって、ストレスなく楽しく自由に過ごせているのかな。

またタイの海に行ける日が来たら、もっともっと「お邪魔します」という気持ちで、

きれいになった海を汚さないように、

優しい海遊びを心がけたいと思います。



maakoさん

大阪府出身。短大卒業後、5年間の商社OL時代を経て、沖縄に移住。マリンスタッフとして働き、オフシーズンに世界一周旅行へ。各地の絶景や海中写真を投稿するinstagramが注目を集める。宮古島を拠点に、沖縄離島や海外リゾートへのツアーを開催しながら海旅を続けている @maakomind

Answer 1 ゆっくりおうちにいる時間が増えて、海への愛が増しました A2 烏骨鶏の卵を温めてヒヨコに孵して育てていました^^。毎日可愛くて幸せでした。笑 A3 ご飯が美味しい! 治安がいい! 人がいい! 安い! 楽しい! 面白い! 気軽に行ける! 全部好き! A4 プーバップンカリー、ソムタム A5 バンコク、タオ島、サメット島、チェンマイ、ピビ島、プーケット、チャーン島、シミラン諸島、サムイ島 A6 またサムイ島のセイルロックで潜りたい! ジンベエザメに再会したい!



サムイ島から潜りにいったセイルロックで、ジンベエザメとツーショット!

Location: **Mu Ko Phi Phi**

ケイ

KEI

また旅したい国タイ。
そんな未来は必ず訪れる。

思い出を話し出すとキリがない。

エメラルド色に輝くピピ島、幻想的な世界が広がるコムローイ祭り、

世界中のバックパッカーと飲み明かしたカオサンロード。

4年前の世界一周時に初めて訪れてからタイに恋をして、それから年に2回のペースで訪れている。

行くたびに顔を変えていくタイ。

パーツがまた高くなって、屋台が街から少し消えて。

高いビルがたくさん建ったけど、

人々の微笑みは変わらない。

昔のような旅はもうできないかもしれないけど、

すべてが終息したらタイはまた旅をしたい国のひとつ。

次、訪れたときには、こちらからたくさんの笑顔で旅がしたい。



KEIさん

旅するクリエイター Kei。16年間続けたアルペンスキーを通じ、“勝負”における最大の武器は「精神力」と「覚悟」であることに気付く。スポーツ推薦で中央大学に入学するも、在学中に学んだ社会学／フィールドワークという学問に非常に興味を持ち、「旅」への魅力が更に高まり、大学4年生の時にバックパッカーとして世界一周を経験(48ヶ国)。その後「映像×旅」の魅力に気づき、世界中で自身の旅の様子を展開。現在は東京と地方を歩き来し、デュアルライフに挑戦する27歳。公式Instagram @kazukiyo0427

Answer 1 料理ができるようになりました。ステイホーム前は旅をし続けていたので、99%外食でした。お家でも旅がしたい!と思って、自分の舌を頼りに世界中の料理を作っていました **A2** なんでもいいから新しいことに挑戦すること!「料理」もそのひとつ。届くAmazonのダンボールに絵を描いてみたり、部屋をDIYしてみたり、ラジオ番組を始めてみたり……。気づけば全部お仕事になっていたので、何事もチャレンジだなと思いました **A3** 見どころが多く飽きないところ! エメラルドグリーンに輝く離島に、迫力のある壮大な山々。大自然に囲まれてるかと思いきや、一方でバンコクの大都市もある。古き良き文化も大切にすし、新しいカルチャーもイケてたりする。何度訪れても見飽きないそんなタイのすべてが大好きです **A4** カオソーイ! タイ北部の名物料理で、チェンマイに行ったら必ず食べたい料理のひとつです。ココナッツ風味のカレーに麺が絡みつき、胃袋を刺激してくれます!アロイ(美味しい)! **A5** バンコク、アユタヤ、チェンマイ、チェンライ、ピピ島、ソングラー、クラビ、ブーケット、パガン島、サメット島、サムイ島、パタヤ……たしかこんな感じだったはず……(笑) **A6** やっぱり潜りたい!! タイの離島へ行って、色とりどり豊かな魚たち、ジンベエザメと一緒に泳ぎたいです。そんな未来が必ず訪れる。それだけを信じて、今できることをしようと思います。I wish for world peace!



エメラルドグリーンに輝く
ピピ島の海にジャンプし
た瞬間をGoPro MAX
で切り取りました

DIVER 011

Location: **Chiang Mai, Krabi**

近藤あや

AYA KONDO

今は自然の休憩時間

2019 年の誕生日、
ひとり旅で 1 週間ほどタイに行きました。
チェンマイ、バンコクと旅して、
たくさんの自然に触れ、たくさんの友達もできました。
タイは、ご飯も美味しく、自然も豊かで、人に優しい。
本当に大好きな国です。
また行きたいと思った矢先のコロナ渦。
行けなくて残念ではあるけど、
今は自然の休憩時間と思い、
また美しい自然に会える日を楽しみにしています。



近藤あやさん

トラベラー。1991年11月10日生まれ。大学生の時に「テラスハウス」に出演。その後、旅のインフルエンサーとして活動。“GoPro片手にどこへでも!”と旅をして23カ国。大好きなドラえもんをきっかけに、現在は富山県にて放送中の旅番組「きとキュン♡トラベラー」のMCを務め、4年目になる。
Instagram @doraemontoaya

2014年、初めて行ったタイ。海の青さに驚きました。当時、まだGoProを撮り慣れていなくてスマホでしか写真が撮れなかった。笑。クラビに来て、もっと潜りたい!と思いダイビングの資格を取ろうと決めました



昨年一人旅で行ったコムローイ祭り。本物のラプンツェルの世界を見たくて行きました。空に浮かぶたくさんのランタン。本当に美しかった。タイは、自然もイベントも文化も、美しく、魅力的なもの多いので、まだまだ行きたい見たいものがたくさんあります。また行ける日を心から楽しみにしています。



Location: **Ang Thong Island**

むらいさち

SACHI MURAI

あのカラフルな海を思うだけで
心はタイへ……

僕の中で、タイは他のアジアの国々に比べても
圧倒的に明るいというイメージがあります。
宗教的なこともあります、寺院の明るさ、人々の明るさ、
海のカラフルさなどです。
そんな理由もあり、明るい写真が好きな僕ととても相性がよく、
大好きな国です。ご飯がおいしいのも外せませんよね。
また訪れられるようになったら、
あのカラフルな海を見たり、魚に包まれますね。
こう書いているだけで心はタイへ……。

タイのエメラルドグリーンの美しい海と、島々が連なる独特の地形、そして青い空。そんな風景に、タイらしい派手な昔ながらの船がとてもフォトジェニックでした。日本にはないこんな色の感覚がとても好きです

Answer 1 オンラインの可能性を知り、世界の広がりを感じました。今後リアルと、オンラインを使ってできることが広がりますね **A2** 自分のオンラインサロンで日々写真のことを書いていたり、Youtubeチャンネルでライブ配信を始め、海好きな皆さんと海の楽しさを共有していました **A3** 海・人・お寺などなど、とにかく明るいところですよ **A4** パッタヤ、ガパオ、トムヤンクン（すべて辛いのですが……。汗） **A5** バンコク・プーケット、タオ島、アユタヤ **A6** とにかく潜りたい！ 魚に包まれます。タイ料理も食べたいな……



むらいさちさん

うみカメラマン。沖縄でのダイビングインストラクターを経て写真の世界へ。雑誌や広告を中心に、水中だけでなく、オーロラから海中まで、自分が感じた幸せな瞬間を、柔らかな感性で表現している。写真のオンラインサロン「むらいさちのふんわりフォトサロン」を開設。日々水中や陸上の写真をアップしている。公式インスタグラム @umisachi7

加藤 禎之

SADAYUKI KATO

改めて感じる、 あの日々のありがたさ

毎年、当たり前のように訪れて、
当たり前のように楽しんでいたタイでしたが、
行かれなくなったことで、
改めて楽しかったあの日々のありがたさを
噛みしめています。

ポジティブにとらえろとするならば、
人間が入らないことで海も休む時間ができた、
ということになるのでしょうか。

また気兼ねなく行ける日が来たときには、
元気な魚たちやサンゴに出会えたらと思います。



加藤 禎之さん

会社員ダイバー。2002年にタイでダイビングのOW
資格を取得。2004年12月に初めて訪れたカオラック
でインド洋大津波に遭遇するが運よく難を逃れる。以
降、避難の際にお世話になった〈ビッグブルーダイ
ビング〉のリピーターとなり、毎年GWはタオ島、年末
年始はカオラックに足を運んでいた

Answer 1 何気ない日常に対して感謝することが増えました A2 たぬきに組まれたローン返済のために、魚釣りや虫採りや肉体労働 A3 色鮮やかな水中風景と、密度の濃い魚影の両方を楽しめるところ A4 クンチャーナンプラー（タイ風エビの刺身） A5 タオ島、カオラック A6 ジンベエザメとの再会



以前は視界を遮る煩わしい存在と思っ
ていたクロリボンスズメダイの大群です
が、見方を変えると、大きな生き物のよ
うで生命力を感じる魅力ある被写体でし
た。今では邪魔者扱いしたのが申し訳
ないくらいお気に入りの風景になりました

Location: **Mu Ko Similan**

斉藤芽生

MAY SAITO

あの風に触れられる日が
待ち遠しい

高校生のとき、ピピ島を訪れたのが私の初めてのタイ。
自然豊かで、美しい景色と空気。現地の方々の屈託のない笑顔。
ヤシの葉で編んだ帽子をかぶったり、小さな船で釣りをしたり……。

最初の思い出からして最高の場所。
今、この瞬間も、タイではあの空気が流れていて、
あの風がそよいでいるんですね。
次にタイの風に触れられる日が待ち遠しいです。

斉藤芽生さん

ダイビングインストラクター／ヨガ・顔ヨガインストラクター。小学生からスクーバダイビングを始め、海や旅に親しみながら過ごす。1999年、母と妹とダイビングショップ〈フリーダムファクトリー〉をオープン。デザイナーとして忙しく働く中、肉体的・精神的な安定と健康維持の必要性を感じ、ヨガを学び始める。現在はダイビングトリップ開催の他、ヨガや顔ヨガのレッスンやイベントも行う
●livelovedive.amebaownd.com

Answer 1 忙しさに追われて「与えられたことをやる」生活から「何ができるか考えて自分で動く」生活にシフトしている気がします **A2** 通信教育で、健康食と整体を学びはじめました！ **A3** 色彩・フルーツ・神様に守られている感じがするところ。海・人などなど **A4** ヤムウンセン **A5** バンコク、ブーケット、ピピ島、タオ島、シミラン諸島 **A6** タイ古式マッサージを受けたい



立花広輝

HIROKI TACHIBANA

スローな時間が流れる国

新型コロナウイルスへの対応が早かったこともあり、
タイ国内の感染者は3か月以上ゼロです（2020.8.31 現在）。

現在、プーケットのサーフポイントには

海外からの旅行者はいないので、

海はタイ人サーファー、

移住組外国人サーファーの貸切状態です。

日本からお客様もいらっしゃれませんので

ショップの経営状況は厳しいですが、

毎日大好きなサーフィンができるだけ幸せです。

海外旅行に行きたくてたまらない

日本の皆様も多いかと思いますが、

もう少し我慢ですね。終息したらプーケットで会いましょう。



立花広輝さん

神戸出身、プーケット在住のサーファー。20代、世界中のサーフスポットを旅して回る。2000年プーケットに落ち着く。現在は〈常夏屋〉代表。ダイビングインストラクターでもある。

●www.tokonatsuya.com

Answer 1 自宅でゆっくりする時間が増えました **A2** できるだけ友人たちと電話で話すようにしてました。とにかく人と話すことが大切と言うことを実感しました **A3** 何事にもせかせかせしないスローな時間が流れているところ **A4** ガバオライス、ルークチンフライ **A5** プーケット在住。サムイ島、スラタニー、アユタヤ、パタヤ、バンコク、チェンマイ、ハジャイ **A6** プーケットでサーフィン体験してください！

Location: **Mu Ko Similan**

岡本めぐみ

MEGUMI OKAMOTO

できないことを悲しむのではなく、
今できることを全力で楽しむ!!

20年以上前、ひと目惚れしてタイカービングを始めました。
その後、タイの海が気に入り何度もダイビング目的で訪れるようになり、
タイに縁を感じています。

ダイビングで行ったタオ島やシミラン諸島とカービング留学で滞在したバンコク。

かたや自然かたや大都会と両極端ですが、
行くたびに魅了され、さらにタイが大好きになっていきます。
ダイバーが海に入れない間に海が回復再生し、
以前よりも素晴らしい状態になっていること、
そしてタイにいる友人やカービングの先生との再会を楽しみに、
今の状況を乗り越えたいと思います。



岡本めぐみさん

薬剤師として勤務しながら、カービングを勉強し、
その後 カービング講師に。ダイビング歴、カービン
グ歴ともに20年以上。ダイビング旅行に出かけた
先で、いっしょになったダイバーの記念ダイビング
や誕生日などに、フルーツカービングをプレゼントし
ている。タイカービング教室 Atelier Marysol 主宰
☎@bluemoonbutterfly

Answer 1 毎月、5～6回は県外に出かけていましたが、
全く出かけなくなり、慌ただしさがなくなったので、気持ち
に余裕ができた **A2** 普段忙しくてなかなかできないことを
時間をかけてやっていると達成感を感じられて、遠出がで
きなくても楽しく過ごせました。タイにいる友人やスタッフさ
んたちのことを考えながら、接触冷感の生地を使って夏用
のマスクを沢山作り、タイへ送りました。近所に大きな公
園があり、ほとんど人がいないので野鳥撮影。海には行
けないけど自然の中に行けると ほんとして、元気になるま
す **A3** 人々のおおらかさ、優しさ。芸術への真摯な姿勢
A4 タオ島のバンザイ号の上で食べるマッサマンカレーが一
番好き。プーパッポンカリー、カオソーイ **A5** タオ島、カオ
ラック、シミラン諸島、バンコク（カービング留学）**A6** ダイ
ビングとカービング留学はもちろんですが、ホエールウォッ
チング（タイ湾のカツオクジラ）！ ルークチュップ作りのレッ
スンを受講したい



小さなナイフ1本で、果
物や石けんに花などの模
様を彫るタイの伝統文
化・タイカービング



魚影が濃いシミランの
海。迫力あるハンティン
グシーンも見放題！



シミラン諸島 No.8の島
にあるバランスロック。ダ
イブクルーズの時には上
陸して、岩のすぐ下まで
登っていける。上から見
下ろす景色も最高！



岡本さんは海をイメージ
した作品も作っている

大村 健

TAKESHI OMURA

美しい自然環境は 変わらない

コロナの影響でタイのダイビング業界は
ビジネス的に大打撃を受けています。
しかし一方では、ツーリストの激減で
自然環境に優しい状況生まれているのも事実です。

本来ハイシーズンであるはずの
タオ島のビーチに誰もいなかったり、
人気のダイブサイトを貸し切りで潜れたりと、
こんなにタオ島の自然を満喫出来るなんて
まるで 20 年前に戻ったようです。

コロナ禍が落ち着いて日本からタイへ来れるようになったら、
ぜひこの美しい自然環境を体感しに来て欲しいです。

Answer 1 タイという国をよりリスペクトするようになりました。かなり早いタイミングで感染者が出てこのまま感染爆発するかと思いきや、素早く非常事態宣言が発令され国を挙げてコロナ対策に取り組みました。シミラン諸島海洋国立公園はクローズ、タオ島もしばらくロックダウンし、私の仕事も私生活も我慢の日々が続きましたが、その結果は、世界でも評価されています。普段はゆる〜くのんびりマイペンライなタイ人がやる時はやるっていうことに驚き見直しました **A2** 2004年の大津波にも被災して生死に関わるトラブルを間近で体験。その後の復興の道のりを経験してきましたので、今回も特に動じることなく開き直ってポジティブであろうと心掛け、やれることをやり、やるべきではないことはやらないというポリシーを貫いてました。国内移動はもはや問題はないという状況になった後は、自分が普段潜らない海域で潜ったり、国内旅行を楽しんだりしました **A3** 海が良い（自分好みの海）・海以外の魅力も満載・タイ人が優しい・ご飯が美味しい・治安が良い **A4** もともと好きなのはカオマンガイ。最近ハマっているのがヤムカイダオ **A5** タオ島、カオラック、バンコク、プーケット **A6** ツーリストが少なかった時期を経て人気のビーチリゾートが全てめちゃくちゃきれいになっていて、人気のダイブサイトもがら空きです。本当に素晴らしいのでそれを体験して欲しいです

タイ屈指の魚影の濃さを誇るセイルロックでは桁外れの数で魚が群れます。このときは500枚ほどのツバメウオが壁のような群れを作っていました。そこにジンベエザメが登場したので、ツバメウオの群れの近くで待ち構え突っ込む瞬間を狙いました



大村 健さん

大学のクラブでダイビングを始めバックパッカーの旅でタイの海に出会い、1999年タオ島に移住。2003年にカオラック店をオープン。マレー半島の両側に拠点を構え、タイの持つ2つの海の魅力を引き出すべく暇を見つけては調査や撮影、通年潜りまくる日々を過ごしている。〈ビッグブルーダイビング〉代表。趣味は水中写真 ④bigbluediving.jp

パタヤビーチの沖に浮かぶラン
島。夜になると歌舞伎町のような
パタヤから、船で約40分なのに、
海の色がグンとキレイに

古関千恵子

CHIEKO KOSEKI

一度知ったら忘れられない 魅力の数々

いろんなことがオンラインで済ませられる今だから、
その場に行くことの大切さを感じています。
海のきらめきや人々の屈託のない笑顔は、
目の前で見てこそ、心動かされるもの。
タイフードの香りや海からの風の感触も、なつかしい。
映像ではわからない、
一度知ったら忘れられないタイの魅力の数々。
あー、もう一度味わいに早く行きたい！



古関千恵子さん

ビーチライター。コロナ禍が訪れるまでは月に1
～2度、海外ビーチへ通うこと30年。リゾートや
ダイビング、エコなど、ビーチにまつわることを
テーマに雑誌やウェブに寄稿するうち、いつのま
にか“ビーチライター”という肩書に。連載は
CREA web「世界極楽ビーチ百景」や、朝日新
聞デジタル「楽園ビーチ探訪」など。

www.chieko-koseki.com

Answer 1 オンラインではなくリアル
の大切さがわかった **A2** 先のこと
は考えない **A3** あっけらかんとし
た国民性 **A4** プーパッポンカリー
(カニのカレー)、パートンコー (朝
食の揚げパン)、ガバオライス **A5**
ブーケット、ピピ島、シミラン諸島、
ラチャ島、パンガー湾、カオラック、
クラブ、ヤオ島、ランタ島、シカオ、
クラダーン島、マーク島、リベ島、
サムイ島、タオ島、パガン島、アー
ントーン諸島、パタヤ、サメット島、
チャーン島、クット島、チェンライ、
チェンマイ、カンチャナブリー、ア
ユタヤ、バンコク **A6** 泳ぐ。フルー
ツをたらふく食べる！ドリアンが恋
しい！

西森 彩

AYA NISHIMORI

プーケットに南国らしい賑わいが
早く戻りますように

一年中世界各国から観光客が訪れるプーケットですが、
ロックダウンやビーチ進入禁止令により、
見たことのない寂しい風景となりました。

しかしプーケット北部で
ウミガメの産卵が観察されているという
いい NEWS もありました。
早く皆様に南国リゾート“プーケット”の
心地いい風を味わっていただきたいです！



ハスの葉カフェ（有料でハスに乗れます!）



海で象さんと水遊び



観光客のいないパトンビーチ



シーフード・ガパオライス



西森 彩さん

プーケット在住。都内ダイビングショップ、伊豆の現地ダイビングサービスを経て、2015年に1歳半の子供とプーケットへ移住。現在は〈アットプーケット〉で体験ダイビング、スノーケリングをメインに担当。アフターダイブもこんなことやりたい、あんなの食べたい！がありましたらお任せください！

☎divingatphuket.com

Answer 1 家の中の植物が増加（癒しを求める）**A2** 体重計には乗らない！ **A3** タイ料理最高！ **A4** 生エビ入りソムタム **A5** プーケット在住 **A6** 子供とタイ全土鉄道旅行の旅

上野朝雄

ASAO UENO

癒しの時間が待っている

タイへはダイビングに行くというより
「癒やされに行く」と表現した方が正確かもしれません。
海の生き物たちに、景色に、流れる時間に、
そしてスタッフさんやそこに集う
ダイバーの皆さんに心がほぐされていきます。
ステイホームの状況で
その素晴らしさや有り難さが改めて感じられます。
海外渡航が問題なくできる日が来たら、
真っ先に飛んで行きたい国がタイです。

タオ島サイリービーチの夕日。ダイビング後の気だるい身体に夕日が心地よく染み渡ります。タオ島にすることが実感できる瞬間。日没後は美味しい食事とお酒が待っています……

Answer 1 仕事も含めて、直接会っての意思疎通ができないぶん、今まで以上に高い頻度でいいコミュニケーションを取ることを心がけるようになりました A2 活動再開できる日のことを考えながら、身体が鈍らない様「お家筋トレ」をしています。しかし筋肉は育たずにお腹周りだけが成長中です A3 日本とは全く異なる気候、食べ物で異国感を十分味える上に、同じアジア圏という事で安心感や親近感が持てることです A4 カオマンガイ、ソムタム A5 バンコク、タオ島 A6 これまで訪れていたかのように日常を忘れて、いつもの通りにのんびりと過ごしたいです



上野朝雄さん

キャンプ、スキー、バイクなどのレジャーを楽しんできたアウトドア派。海との接点はほとんどなかったが、11年前に友人に誘われて訪れたタオ島の〈バンズダイビングリゾート〉でダイビングのOW資格を取得したことがきっかけでダイビングとタオ島の魅力に引き込まれる。以来タオ島へは8回リピート

MEMORIES,
NOW and FOREVER

Q&A

- Q1 ステイホームで自分が変わったことは？
Q2 ステイホーム中にポジティブでいるためにやっていたことは？
Q3 タイのどんなところが好き？
Q4 好きなタイ料理は？
Q5 訪問したことがあるタイの場所
Q6 タイに行ったらやりたいこと、やってほしいこと



www.thailandtravel.or.jp

DIVER

企画・制作＝ダイバー株式会社
©DIVER All rights Reserved